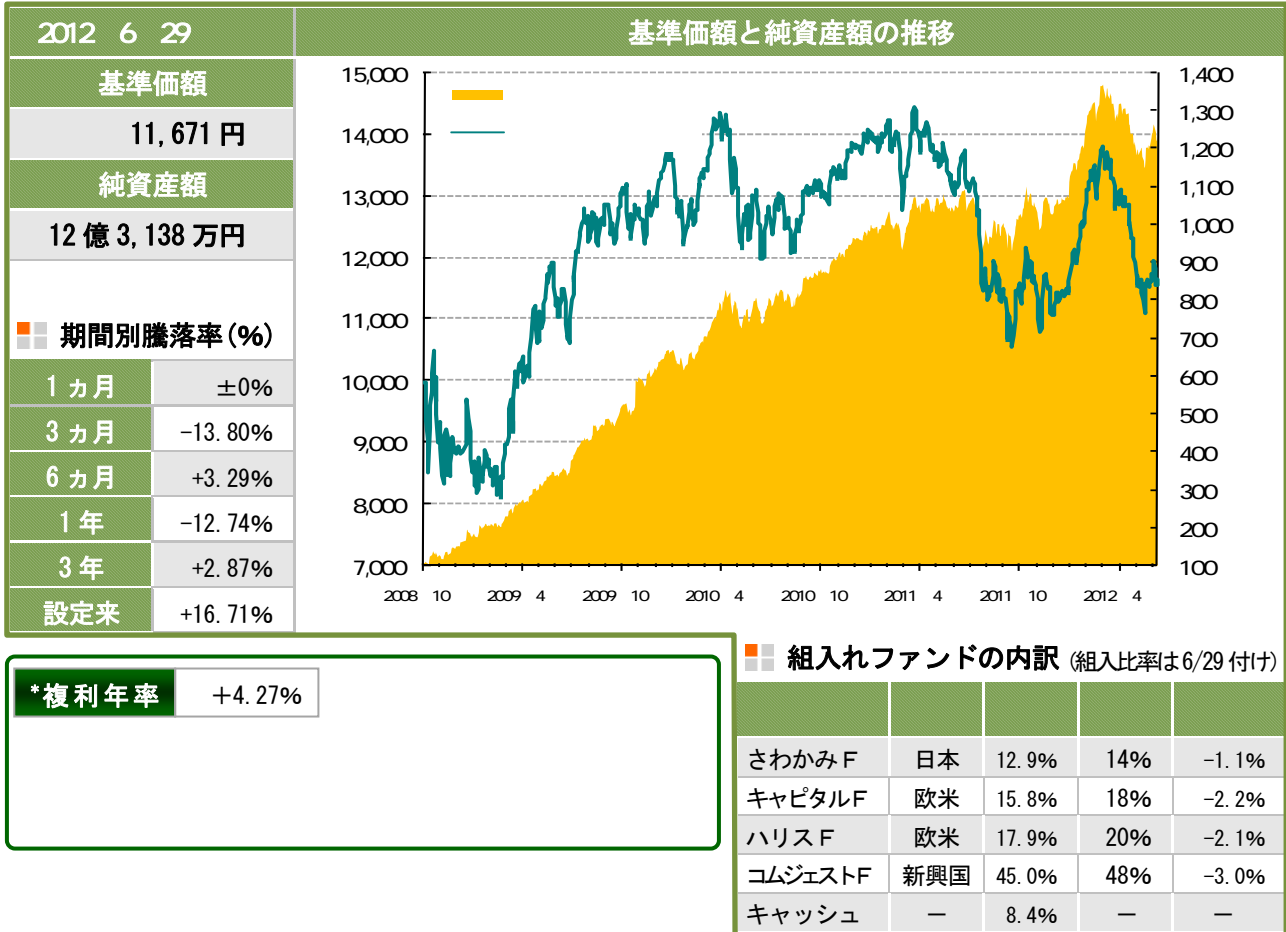




「ユニオンファンド」の「月次レポート」(2012年7月10日作成)をお届けします。

運用状況のご報告

ユニオンファンド概況



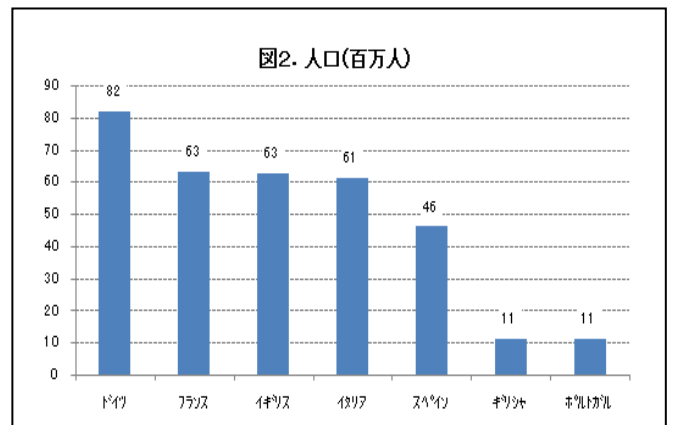
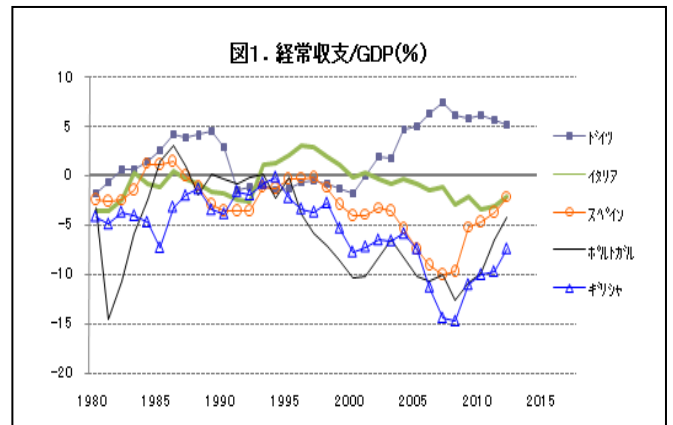
*複利年率 +4.27%

ファンドマネージャー コメント

南欧の経済規模(主要国との比較)

	IMF2011	\$1 \ 80	
	GDP	(1 GDP)	
	1,208	387	- 38
	470	367	10
()	193	309	- 4
	286	350	16
	222	352	- 5
	176	290	- 6
	119	259	- 4
	24	217	- 2
	19	179	- 1

GDP) 1 ()
 4) (3)
 2 1



南欧債務危機の本質

1998

() GDP

GDP

GDP

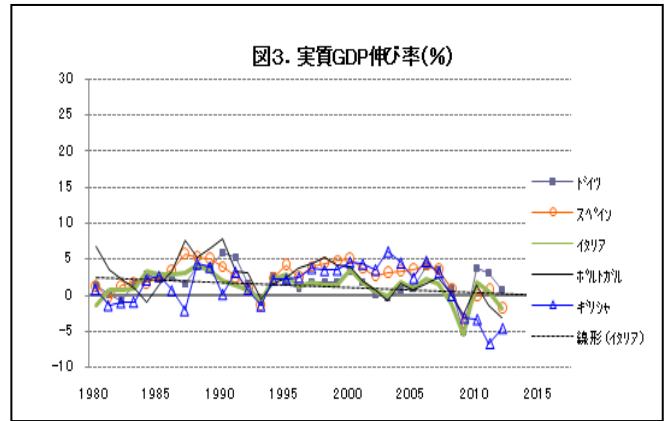
GDP

GDP ()

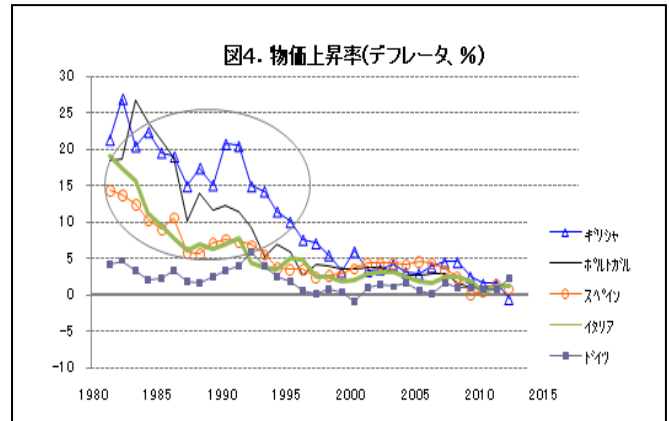
5

()

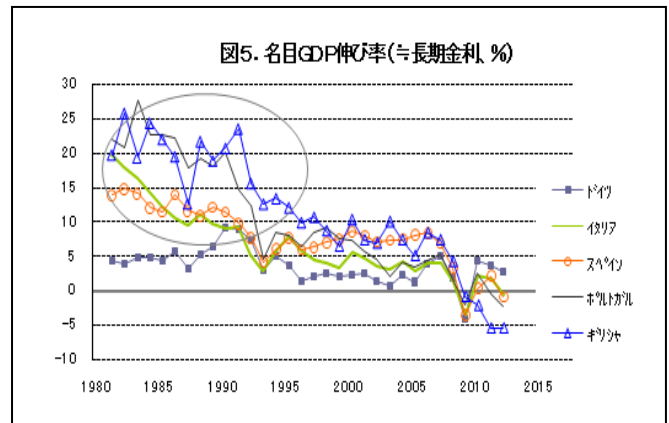
3
4
5
(GDP)
()
()



1999
()

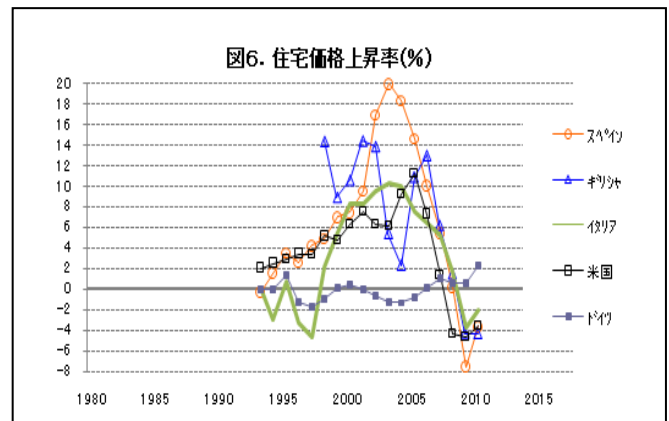


6
6



米国サブプライム危機

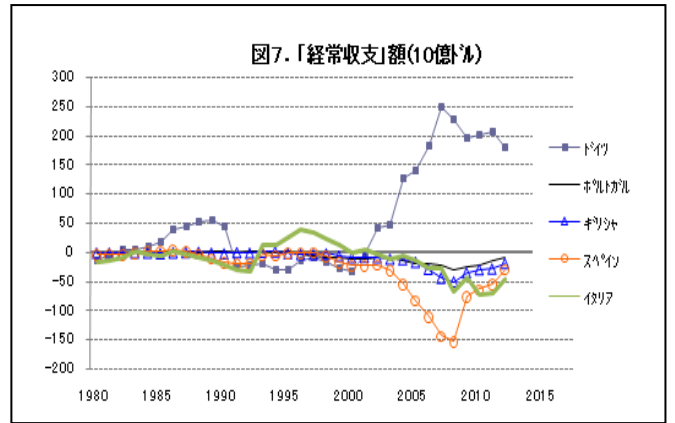
()
()
200
100



()

欧州債務問題の今後は？

100 200
100



150

7

1 7

IMF OECD

欧州の不確実性・不透明性が続く中でのユニオンファンド

20

10

5

()

()

■ 運用報告

4

- 「日本」 : 低成長市場だが身近な精通した市場
- 「新興国」 : 伸び盛りの高成長市場
- 「欧米」 : 成熟した低成長市場

6月の株式市場は、概ね横ばいで推移しました。

- ・このところの株価は欧州債務問題に振り回されています。
- ・2月・3月はギリシャへの第2次支援が決まったことや、米国経済好転などで急騰しました。
- ・一方、4月・5月はギリシャのユーロ離脱懸念の高まりや、米国経済の勢いが弱まってきたことなどから急落しました。
- ・結局6月は今回上昇前の1月頃の低い水準へ戻ったことになりました。

6月の基準価額推移…月の前半は低調、後半はやや盛り返しましたが、月末は前月末と同値の11,671円で終了しました。

組入比率はほぼ横ばいでした。お客さまからの新規受入資金分だけ買い増しを行い、月末は「91.6%」（前月末比+0.1%）となりました。

■ 今後の運用方針

今後の市況見通し

50 (GDP 4)

目標組入比率

90 100

地域別目標投資比率

14 38 48

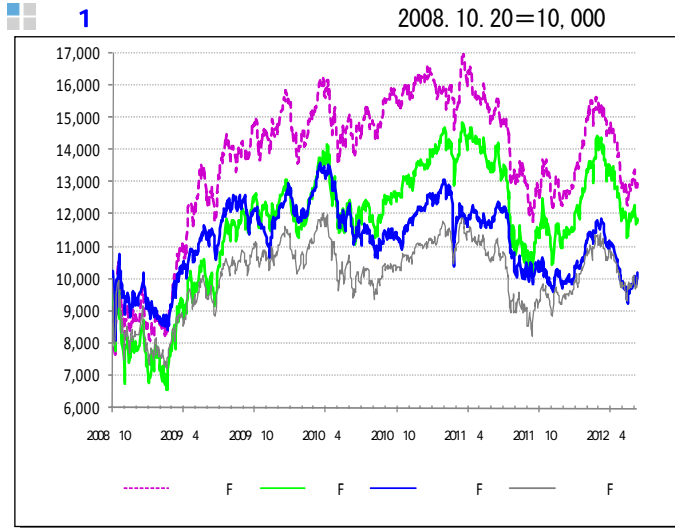
ファンド選定

ファンド別目標組入比率

14 18 20 48

()

「ユニオンファンド概況」補足コメント



>> 図1 基準価額推移

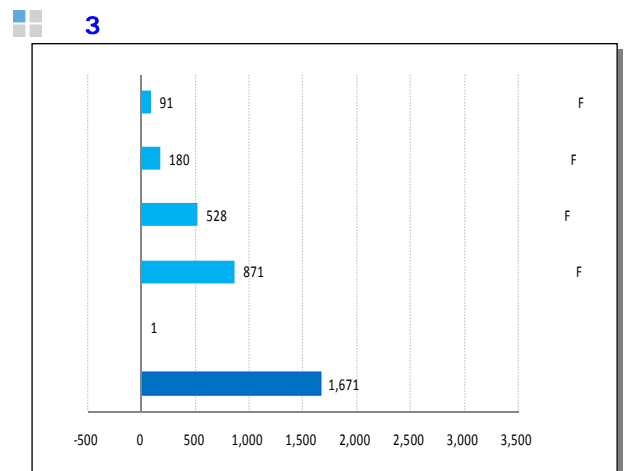
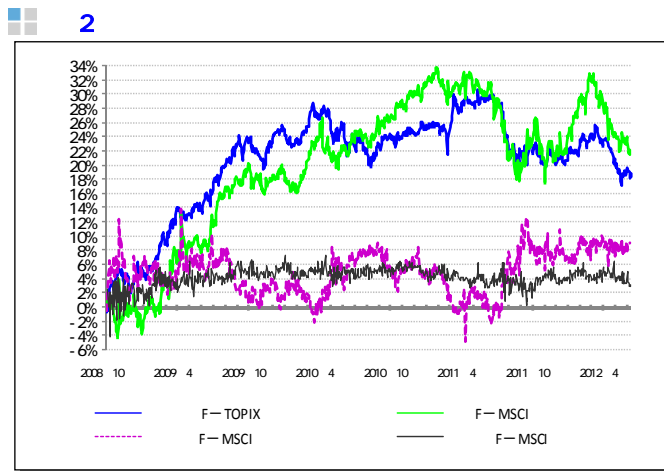
6 5 6
29 02 1.6
06

>> 図2 相対パフォーマンス

18
22 3 6
7 12 ()

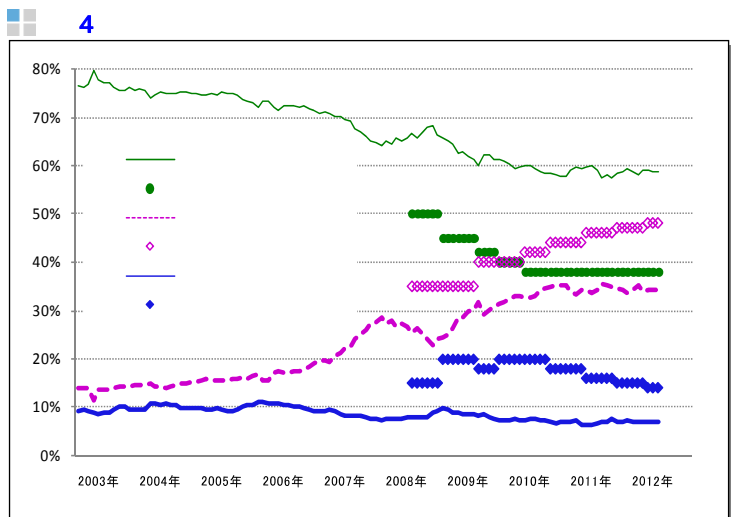
>> 図3 寄与額

6 11,671 1,671
3



>> 図4 時価総額シェア・目標投資比率

14	7
38	21
48	14



(出所)「時価総額シェア」: ユニオン投信株式会社調べ



運用部長 (ファンドマネージャー)
坂爪 久男

()

組入れ4ファンドの状況

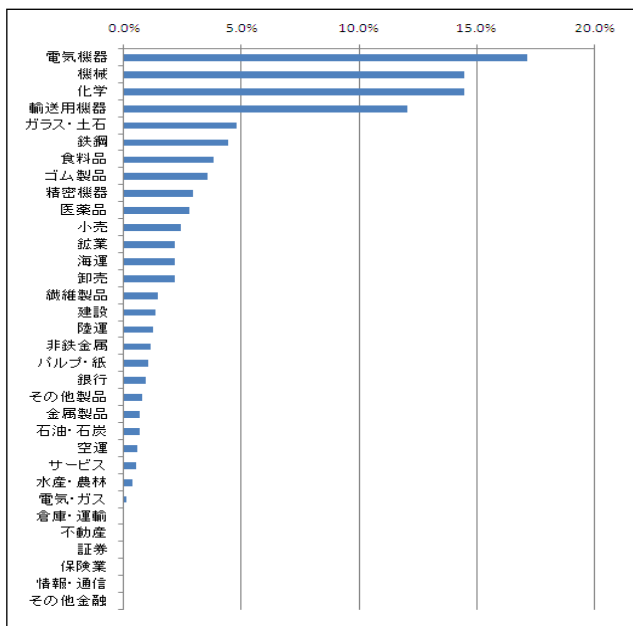
■ さわかみF（さわかみファンド）

株式組入上位10銘柄等

2012年6月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1		4.4%			
2		3.5%			
3		2.8%			
4		2.6%			
5		2.2%			
6		2.2%			LNG
7		2.1%			
8		2.1%			
9		2.0%			
10		1.7%			
	10	25.5%			
	148	73.6%			
		0.9%			

業種別構成比



業種：東証33業種

構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

>> ユニオン投信株式会社としてのコメント

◆組入銘柄数は約150。

業種のメリハリを効かせることで個性あるポートフォリオを作り上げている。

◆具体的には、

- (1) 「電気機器」「機械」「化学」「輸送用機器」「鉄鋼」など“ものづくり”、“輸出型”企業の比率大。
- (2) “内需型”企業では「金融」「通信」「不動産」「倉庫」「公益」などの比率を抑え、「食料品」「医薬品」「小売」など“生活関連”にシフト。

30 ()

()

■ キャピタルF (キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスA)

株式組入上位 10 銘柄等

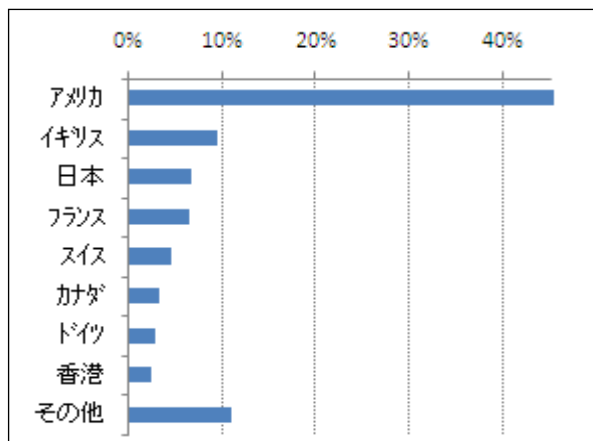
MSCI

10

2012 年 5 月末現在

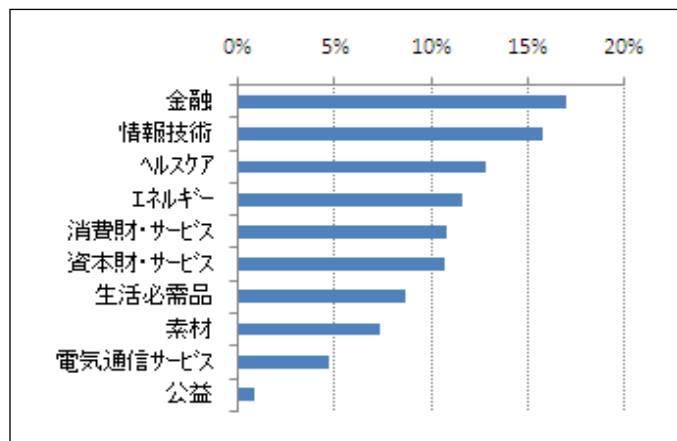
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	Google	2.3%			
2	Imperial Tobacco	2.2%			
3	Gilead Sciences	2.1%			
4	Bristol-Myers Squibb	2.0%			
5	United Technologies	1.8%			
6	Pernod Ricard	1.8%			
7	BB&T	1.8%			
8	American Tower	1.7%			
9	Danaher	1.6%			
10	AT&T	1.5%			
	10	18.8%			
	156	75.9%			
		5.3%			

国別構成比 (マザーファンド)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

業種別構成比 (マザーファンド)



業種：MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比：現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

>> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆日本を含む先進国に幅広く投資 (約 150~200 銘柄)。
- ◆インデックスに対し大きな偏りをとらず、長期間の安定的な超過収益を狙うファンド。
- ◆半年前に比べ、割安な「金融」、安定セクターの「ヘルスケア」が増加し、「素材」「情報技術」「エネルギー」など景気敏感セクターが減少。
「金融」は引き続き組入トップ (5 カ月連続)。

()

株式組入上位 10 銘柄等

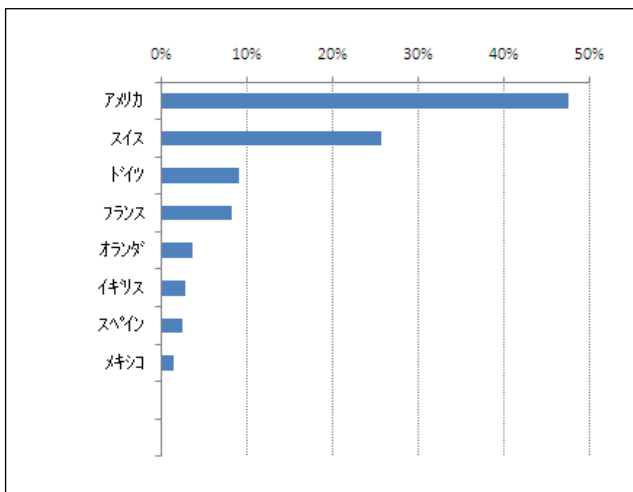
MSCI

24

2012 年 5 月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	INTEL	69%			
2	STARWOOD HOTELS	41%			
3	WELLS FARGO	39%			
4	CREDIT SUISSE	36%			
5	AKZO NOBEL	36%			
6	ADECCO	35%			
7	CARNIVAL	35%			
8	KUEHNE & NAGEL	35%			
9	DAIMLER	34%			
10	APPLIED MATERIALS	34%			
	10	39.4%			
	26	55.2%			
		5.4%			

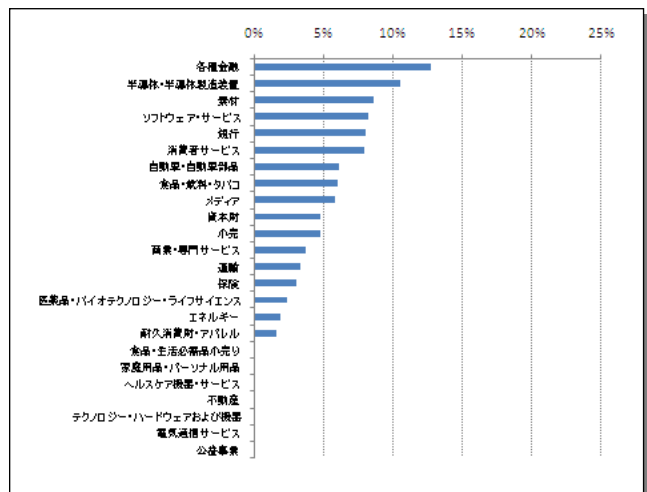
国別構成比 (マザーファンド)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

業種別構成比 (マザーファンド)

※2012 年 6 月末現在



業種：MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ
構成比：現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

» ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 割安な 40 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。日本除きの世界各国に投資。
- ◆ 「金融」セクターが引き続き最大の投資セクター (組入比率：約 24%)。
「金融」セクターのなかでも業績好調なカード会社や資産運用会社などの比率を高め銘柄選択効果を効かせている。
- ◆ それ以外では、業績好調な「半導体」「素材」、安定的業績の「ソフトウェア」「消費財サービス」などのウェイトを高めている。
- ◆ 業種を問わず目標圏に到達した銘柄を利食い、割安株を買い付けているが、最近では「小売 (特に高級ブランド)」「自動車関連」「運輸」「医薬品」などが増加。

()

株式組入上位 10 銘柄等

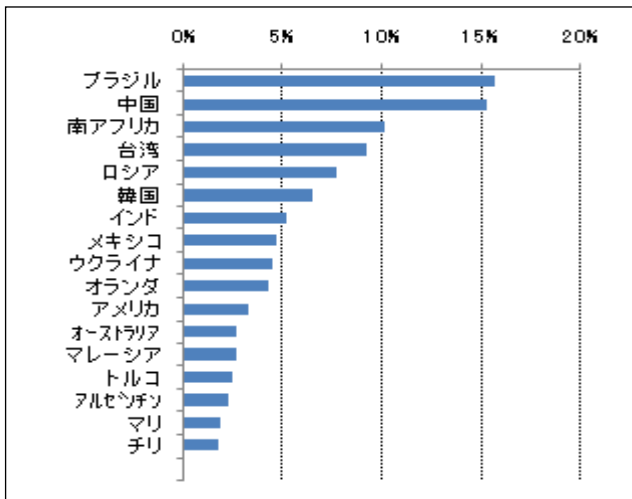
MSCI

10

2012年6月末現在

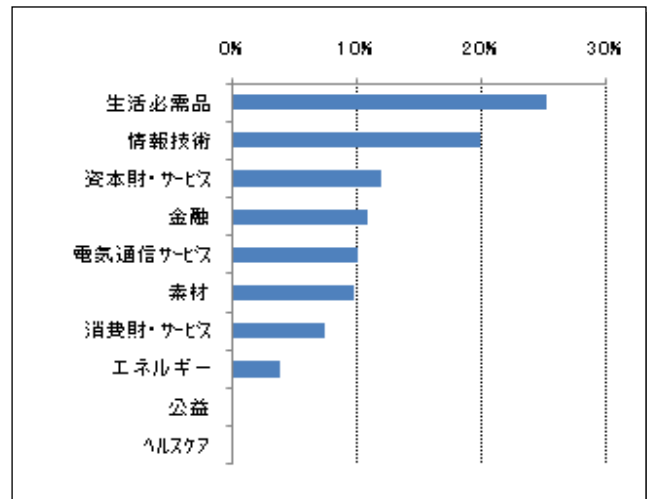
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	61%			
2	CHINA LIFE	43%			
3	HEINEKEN	40%			3
4	NHN	33%			
5	PING AN INSURANCE	33%			
6	GOLD FIELDS	31%			
7	MOBILE TELESYSTEMS	31%			
8	BUNGE	30%			
9	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	30%			
10	CCR	29%			
	10	361%			
	28	581%			
		58%			

国別構成比 (マザーファンド)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

業種別構成比 (マザーファンド)



業種：MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比：現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

>> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆新興国の割安な 50 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。
- ◆財務体質健全、積極的な情報開示、株価割安な企業に選別投資。
- ◆高成長新興国を中心としたポートフォリオ。
- ◆新興国市場は「資源・エネルギー」や「金融関連」に大きく偏っているが(BRICs 諸国では概ね 5~6 割程度)、当ファンドは「生活必需品」「通信関連」などの安定成長セクターに高ウェイト(資源・金融は 1~2 割程度)。このため新興国市場が市況高(資源・原油高)で上昇する場合は追従できないことが多い。しかし市況の下落局面では当ファンドは下げ渋ることが多く、長期的な相対パフォーマンスは良好。
- ◆現在は「生活必需品」のほか、成長性の高い「情報技術」にもシフト中。
- ◆また割安な「金融」株を積み増し(組入比率：2011 年 9 月のボトム 5%から今月 11%へ)。
- ◆組入 3 位[ハイネケン]：オランダ籍だが、営業利益の過半が新興国(特に東欧・アフリカ・ロシア等)。
- ◆組入 8 位[BUNGE]：アメリカ籍だが、南米等新興国で活躍する農産物加工大手。

()

ユニオンファンド(組入4ファンド トータル)の状況

株式組入上位 30 銘柄等

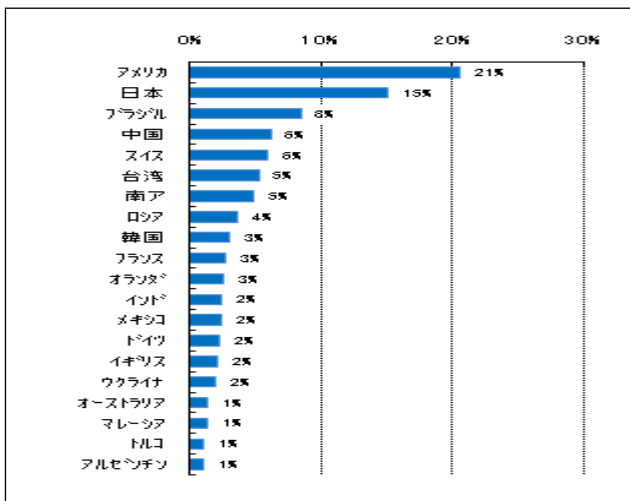
MSCI

10

2012年5月末現在

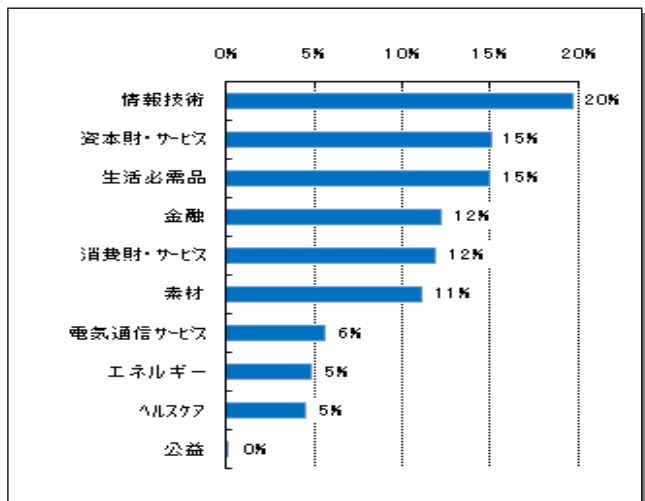
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	31%		
2	HEINEKEN	1.8%	3	
3	CHINA LIFE	1.8%		
4	CCR	1.7%		
5	GOLD FIELDS	1.6%		
6	CIELO	1.5%		
7	MOBILE TELESYSTEMS	1.5%		
8	NHN	1.5%		
9	BUNGE	1.4%		
10	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	1.4%		
11	INTEL	1.4%		
12	STARWOOD HOTELS	0.8%		
13	WELLS FARGO	0.8%		
14	CREDIT SUISSE	0.7%		
15	AKZO NOBEL	0.7%		
16	ADECCO	0.7%		
17	CARNIVAL	0.7%		
18	KUEHNE & NAGEL	0.7%		
19	DAIMLER	0.7%		
20	APPLIED MATERIALS	0.7%		
21		0.6%		
22		0.5%		
23		0.4%		
24	Google	0.4%		
25	Imperial Tobacco	0.4%		
26	Gilead Sciences	0.4%		
27		0.4%		
28	Bristol-Myers Squibb	0.4%		
29		0.3%		
30	United Technologies	0.3%		
30		29.5%		
368		62.0%		
		8.5%		

国別構成比 (上位 20 カ国)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

業種別構成比



業種：MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

>> コメント

☆組入銘柄数：398、投資国数：25 カ国。

☆組入上位 30 銘柄明細：40 銘柄程度に絞り込んでいる「コムジェストF」「ハリスF」組入銘柄が上位に。

☆国別構成比：アメリカが1位で21%、日本が2位で15%、3位以下はブラジルの8%など新興国が続く。

主要新興国ではブラジル・中国・南ア・ロシア・インド・メキシコの順。

☆業種別構成比：「情報技術」を筆頭に「資本財」「生活必需品」「金融」などが続く。

最近1年間の業種別動向：米国回復やスマートフォン急拡大などから「資本財」「消費財」「情報技術」が増え、また割安な「金融」も増加。一方、新興国の苦戦などから「生活必需品」「通信」「素材」などが減少。

()

労働組合は今こそ社会に恩返しをする行動を！

ユニオン投信株式会社 取締役
清水 学



“ ”

300 2400 50

()

18.4 (23)

100 18

680 ()

()

()

(2011 1 11)

2012 6

()

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。 －

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズ的方式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、**投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。**

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」などがあります。

『ユニオンファンド』の手数料

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続き・手数料等」をご覧ください。 －

- | | |
|-----------|---|
| 【申込手数料】 | お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。 |
| 【換金手数料】 | ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。 |
| 【信託報酬】 | 総資産総額に年0.84%（税抜き 年0.8%）の率を乗じて得た額です。
毎日、当ファンドの投資信託財産より控除されます。
[実質的な信託報酬* 信託財産の純資産総額に対して年1.9%±0.3%（概算）] |
| 【信託財産留保金】 | 信託財産留保金はありません。 |
| 【その他の費用】 | 『ユニオンファンド』に組み入れるファンドを売買する際に発生する売買手数料およびこれにかかる消費税に相当する額は投資信託財産より控除されます。 |

()

